

平成22年度 事業報告

1.環境教育研究年報第19号の刊行（2010年12月編集、2011年3月発行）

2.栽培学習園での体験学習の実施

大学学部の授業（学生実習、観察等）

京カレッジからの受講、大学コンソーシアム京都単位互換聴講学生の受講

附属学校園

附属幼稚園 ジャガイロ、サツマ任、タマねぎ栽培、収穫等

附属特別支援学校 水稻の栽培実習

京都市立及び私立幼稚園、保育園、児童館 ジャガイロ、サツマ任栽培、収穫等

公開講座 幼稚園教諭対象、一般市民対象、小学生対象

公開講演会 一般市民対象

小学生の親子の栽培体験教室 地域の小学生の親子対象

中学生の「生き方探求チャレンジ体験」 京都市立中学校及び附属桃山中学校2年生対象

3.公開講座の実施

1)。「幼稚園の自然観察、栽培、飼育実技講座」（京都府リカレント学習講座）

対象、幼稚園教諭18名、2010年4月17日～7月10日午後、計6回、延べ12時間

植村（清水台幼）、家田（むらさき幼）、河嶋（前附属幼）、田淵、広木、梁川担当

2)。「シリーズ環境を考えるー自然に親しむー」

対象、一般市民27名、2010年5月15日～11月20日午後、計6回、延べ12時間

武蔵野、松良、板東、田淵、梁川担当

3)。「小学生のための科学技術実験教室」

対象、小学生26名、2010年5月22日～11月6日午後、計6回、延べ12時間

茶木（附属特別支援学校）、天野（大原野中学校）、岡田（西ノ京中学校）、

海老崎（京都市青少年科学センター）、梁川担当

4)。「将来の地球環境問題を支える子ども達に贈る科学実験教室」

対象、小学生、午前クラス20名、午後クラス12名、2010年5月29日～2010年12月18日、各計7回、延べ36時間

川村（東京理科大）、工藤（奈良学園中・高校）、山下（立命館大）、藤原（サイエンスEネット）、松林（サイエンスEネット）、梁川担当

4.講演会の実施

1).環境教育実践センター講演・研修会（京都市教育委員会との共催による現職教員のための研修会）

2010年6月11日（金）、於 京都市総合教育センター研修室

講演「場と人をつなぐ環境教育」

講師：本学教授 水山 光春氏

分散会 各団体（A～D）の実践発表、ワークショップ

A NPO 気候ネットワーク 「こどもエコライフチャレンジ」温暖化防止学習プログラム

B NPO きょうとグリーンファンデーション 「おひさま発電所環境学」自然エネルギー体験、ネーチャージェーム、紙芝居ワークショップ

C 京都市ごみ減量推進会議 「地域と進めるごみ減量学習プログラム」商店街で出た生ごみの一部堆肥化、小学校でのゴーヤのグリーンカーテンづくりに利用

D 総合地球環境学研究所 「温暖化観測プログラム」二酸化炭素の観測装置の紹介、学習プログラム

2).公開講演会

第1回 「趣味と実益を兼ねたミニ花壇のすすめ」

日時 2月25日（金）午後2時から4時

講師 田淵春三氏（京都教育大学名誉教授）

第2回 「農と食の文化と科学、ー農学と食品学、そして食育ー」

日時 3月3日（木）午後2時から4時

講師 阿部一博氏（大阪府立大学大学院教授）

第3回 「身近な植物の病気と害虫の予防」

日時 3月11日（金）午後2時から4時

講師 草刈眞一氏（大阪府環境農林水産総合研究所 研究調整部 主任研究員）

第4回 「植物栽培と環境調節」

日時 3月17日（木）午後2時から4時

講師 梁川 正氏（京都教育大学教授）

5.子どもとともに植物の栽培体験教室の実施

子どもゆめ基金助成活動

「野菜や草花を栽培して育てる楽しみや不思議さ、大切さを学習する体験教室」

対象、小学生とその保護者 35組 70名、2010年4月24日～12月11日、計12回

午前10時～12時、梁川担当

6.中学生「生き方探求・チャレンジ体験」の受け入れ（京都市立中学校・京都市教育委員会の事業）

本センターは京都市教育委員会仲介事業所として中学生を受け入れ。

京都市立西ノ京中学校、2010年5月24日～5月28日2年生2名、5日間、9時～15時受け入れ

京都教育大学附属桃山中学校、2010年7月6日～7月7日2年生男子3名、

2日間、9時～15時受け入れ

京都市立藤森中学校、2010年11月8日～11月12日2年生男子1名、5日間、9時～15時受け入れ

京都市立音羽中学校、2010年11月8日～11月12日2年生男子3名、5日間、9時～15時受け入れ

京都市立伏見中学校、2011年1月17日～1月21日、中学2年生女子1名、5日間、9時～15時受け入れ

7.教員免許状更新講習の実施

2010年8月11日（水）

講習名「植物の再生と簡便な無菌培養」、梁川担当

受講者数 30名（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、総合支援学校教員）

8.京都サイエンスワークショップ2010に協力

京都教育大学主催、京都教育大学附属高校主幹

2010年8月10日～8月13日テーマ3 附属高校生2名 梁川担当

9.環境教育有機物リサイクルシステムの運転

平成16年度にこのシステムを設置、平成17年3月22日より、運転開始。この設備は、学生寮食堂から生じる生ゴミをはじめ、栽培した植物の残渣、除草した雑草、剪定した枝を粉砕したもの等の有機物を発酵槽に投入、これらを48時間で堆肥にし、さらに、ペレット作成機および乾燥機にかけてペレット状堆肥にするシステム。毎日70kgほどの生ゴミ等を投入して堆肥の作成を実施。作成した堆肥は本センターの栽培学習園に入れて植物栽培に利用して有機物のリサイクルを実践。

平成18年度より、ホテルグランビア京都から食材生ゴミを搬入して堆肥化し、得られた堆肥を用いたハーブの有機栽培研究を行うとともに、生産されたハーブはホテルで利用してもらうという事業を開始し、22年度も継続して実施。

10.環境共生園の整備の推進

11.環境破壊等で衰退、滅失、絶滅が危惧される植物の維持、増殖（今年度も継続）

—京都府の久美浜海岸における海浜植物トウテイラン等の植物について—

—滋賀県犬上川流域の低湿地に生育するタコノアシについて—

12.環境教育実践センターホームページの更新、管理

13.学校環境緑化センターとしてのサービス

本学藤森学舎、附属図書館、附属学校園、京都市立及び私立の学校園など

14.その他

1).ソーラー機器の展示（ソーラー発電、ソーラー温水器）

2).雨水利用設備の展示

3).気象環境の計測（気温、湿度、雨量、日射、日照、風向、風速）

4).ふれあい伏見フェスタ（4月10日）へ出展、「植物再生の不思議さを実感する培養実験」、「春の草花苗の販売」

5).緑のカーテンの実践（ゴーヤ、自然薯、アサガオ、ルコウソウ、フウセンカズラ、トケイソウ、ツルムラサキの袋栽培、プランター栽培）

6).タイ国教員のための人材育成研修プログラム、理科教育教員他40名視察（6月10日午後）受け入れ

7).附属桃山小学校等の樹木剪定枝の木材チップへの粉碎協力と木材チップのマルチ資材としての利用に協力

- 8). 太陽が丘（宇治市）の桜植栽計画に協力、株元への木材チップのマルチ資材としての利用
 - 9). 地域のボランティアによる環境教育実践センターの除草、土づくり、清掃、樹木の名札整備、栽培管理作業補助等の活動の受け入れ
（約 20 名の方が 4 月より月に 1 回程度の活動を実施）
 - 10). 京カレッジ受講生による夏休み（8-9 月）、春休み（2-3 月）における農業実習Ⅰ、Ⅱで栽培している植物への管理作業補助。
 - 11). 日本農業教育学会の開催、研究発表会、公開シンポジウム（附属高校教室にて）
15. 平成 22 年度教育研究改革・改善プロジェクト経費によるプロジェクトの実施（『持続可能な環境と社会のために貢献できる教員の育成ー地域社会と連携した「食の循環とエネルギーの循環」の教育の推進』）
- 1). 特別授業の実施「食の循環と食育-福岡教育大学における実践-」環境教育としての生ゴミリサイクルを導入した調理実習の取り組み
2010 年 12 月 16 日（木）3 限目（12:50 ～ 14:20）
講師：福岡教育大学家政教育講座 秋永優子教授、技術教育講座 平尾健二准教授
 - 2). 特別公開講演会の実施『エネルギーの循環』についての教育の現状と課題
2011 年 3 月 16 日（水）14 時から 16 時
講演①「雲ヶ畑の林業の現状と大学生を中心とした山仕事ボランティア活動」
講師：波多野達二氏（林業家、佛教大学非常勤講師、元雲ヶ畑小中学校 PTA 会長）
講演②「森林バイオマスエネルギーの活用と環境学習」
講師：松田（橋本）直子氏（株式会社 Hibana 代表取締役）